

新幹線プレス

2017年12月15日 No.375

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

安全神話に亀裂が！

重大インシデント発生！！

すでにマスコミ報道等でも大きく取り上げられている34Aの台車に亀裂が生じていた事故は、国の運輸安全委員会から深刻な事故につながりかねない「重大インシデント」に認定され、調査が行われている。高速走行する新幹線の台車に亀裂が生じたことは、脱線・転覆に直結する非常に危険な事態であると認識しなければならない。今年1月にも31Aで歯車箱の破損事故が発生しており、重大事故に繋がる危険性があるのではないかと会社に申し入れを行った。会社は安全上問題は無いと主張してきたが、今度は台車に亀裂が発生する事態となった。この間会社は交番検査の周期延伸を実施してきたが、更に全般・台車検査の周期延伸も図ろうとしている。果たして安全は保たれるのであろうか？まさに新幹線の安全神話に亀裂を生じさせてはならない。徹底した原因の究明を求めるとともに、安全が確認されるまで延伸した検査周期を元に戻すことを強く求める！！